

小学校の指導改善プラン

千代田区立千代田小学校（令和6年度）

達成度調査等及び児童の学習状況から見た成果と課題 ○成果 ▲課題

	第4学年	第5学年	第6学年
国語	○「話すこと・聞くこと」は千代田区の達成率より7.6ポイント高い。 ▲「読むこと」は千代田区の達成率より0.4ポイント低い。	○「言葉・情報・言語文化」及び「話すこと・聞くこと」は千代田区の達成率より2.7ポイント高い。 ▲「読むこと」は、千代田区の達成率より7.6ポイント低い。	○教科総合では千代田区の達成率とほぼ同程度である。 ▲「書くこと」は、千代田区の達成度より8.0ポイント低い。
社会	○「歴史と人々の生活」は千代田区の達成率より2.8ポイント高い。 ▲「現代社会のしくみやたらしきと生活」の領域で、千代田区の達成率より3.0ポイント低い。	○「知識・技能」は千代田区の達成率より6.5ポイント高い。 ▲「思考・判断・表現」に関することについては4.8ポイント低い。	○「現代社会の仕組みや働きと生活」は、千代田区の達成率より2.9ポイント高い。 ▲「地理的環境と人々の生活」は、千代田区の達成度より14.7ポイント低い。
算数	○「図形」は千代田区の達成率より3.7ポイント高い。 ▲「測定」は、千代田区の達成率より5.1ポイント低い。	○「図形」及び「データの活用」は千代田区の達成率より4.6ポイント高い。 ▲「変化と関係」は千代田区の達成率より1.4ポイント低い。	○「数と計算」は、他の領域と比較すると千代田区の達成率との差が小さい。 ▲「変化と関係」は千代田区の達成率より11.6ポイント低い。
理科	○全体的に千代田区の達成率と同程度である。 ▲他の領域に比べ「生命・地球」の分野に課題がある。	○全体的に千代田区の達成率より4.3ポイント高い。 ▲他の領域に比べ「物質・エネルギー」の分野に課題がある。	○「生命・地球」は、千代田区の達成率より2.2ポイント高い。 ▲「物質・エネルギー」は、千代田区の達成率より9.6ポイント低い。
授業改善の方針			
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・読書をする機会を多く設け、内容についての交流をして正しく読んだり、感じたことを伝えたりして読む楽しさを味わい、「読むこと」の力を付ける。また、文章に多く触れることで語彙を増やしたり、文章を書く時の手本としたりして「書くこと」への意欲を高める。 ・日頃から文章を書く経験を重ね、感じたことを言葉で表現し、よりよい文章を書こうとする習慣を付ける。 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を活用して学習を行い、資料を読み取ったり、関連付けて考えたりしながら社会的事象を捉えられるようにする。また、地図やデータを正しく読む力を付けるために授業内で繰り返し資料を活用する機会を設け、習熟を図る。 ・資料等から読み取った内容や考えたことを書き、それを基に交流するなどして考えを深め、自分の生活につながれるようにする。 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的基本的な内容や、既習事項を短時間で取り組む場を設定し定着を図る。数直線や表の活用を重視し、「変化と関係」の習熟を図る。また、協働的に学ぶことを通して、より一層深い学びとなるような授業の工夫をする。 ・国語科の「読むこと」に関する内容と合わせて文章を正しく読み、考え方を説明することへの意識を高める。また、数学的な活動を多く取り入れ、作図や測定・数と計算など体験的に学びを深められるようにする。 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・実物を見たり触れたりする機会や、映像で繰り返し確認する場を設ける等、事象の変化や様子を捉える体験を重視した授業を計画する。また、様々な学習と関連付けたり、発展的に考えたりできるような指導の工夫をする。 ・観察や実験等の様子を詳しく記録したり、自分が考えたことを書いたりする時間を設ける。 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の指使いやタンギングの要点について ICT を活用し、視覚的に理解できるようにするとともに、練習時間を十分に確保する。また、実態に応じた教材の選択などスモールステップを意識した個別指導を一層充実させる。 ・互いの演奏を聴き合い、よさを感じ取ったりアドバイスし合ったりする活動を通して、よりよい音楽表現を目指そうとする意欲を高める。 		
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートや振り返りの効果的な活用により学習意欲を高める。 ・カリキュラムを工夫し、繰り返し課題に取り組ませることで、知識・技能をより深く定着させる。 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の内容を生活に生かすことができるよう、映像資料の活用や生活の振り返りを充実させ、学習を深める。 ・調理実習や裁縫など実践を伴う学習では、道具の扱い方など丁寧に指導し、繰り返し体験できる学習の工夫をする。 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に気を付け、楽しく運動できるよう、ルールや約束を全体で丁寧に確認する。 ・自分の課題やめあてに向かって活動できるよう、グループでの教え合いや映像で動きをイメージさせたりする時間を設定し、よりよい活動につながる学習計画を立てる。また、活動の振り返りを行い、次時への意欲を高める。 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ALT との連携を図り、主体的に学ぼうとする学習活動の構成や内容を考える。 ・ICT の活用で既習事項の定着を図る。また、全体での発語やALT や友達とのやりとりを多く行う学習の工夫をする。 ・「書くこと」の機会を増やし、モジュールでの学習も含め、繰り返し取り組む時間を設定する。 		